

専攻科看護学専攻 後期

専門基礎科目／専門強化科目

1. 看護心理学
2. 看護ケアに生かす情報通信技術
3. 看護管理論

専攻科看護学専攻

科目名:	看護心理学	単位	開講時期	科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択
		3	後期	専門基礎科目	講義	選択

担当教員:	竹ノ山圭二郎
-------	--------

授業科目の学習教育目標の概要:

心身の発達及び学習の過程における基礎的な知識を身につけ、各発達段階における心理的特性を踏まえた指導方法や看護上必要な心理検査の基礎を学ぶ。

授業計画	学習内容	担当教員
①クエスト型授業の進め方、および教育心理学の領域について	【予習復習】授業への動機づけとガイダンス	竹ノ山
②社会性の発達	【予習復習】エリクソンのライフサイクル論	竹ノ山
③認知の発達	【予習復習】ピアジェの発生的認識論	竹ノ山
④学習理論 I	【予習復習】条件づけ理論	竹ノ山
⑤学習理論 II	【予習復習】社会的学習理論	竹ノ山
⑥知能と知能検査	【予習復習】知能に関する理論および検査の概略	竹ノ山
⑦主体的学習を支える動機づけの理論	【予習復習】動機づけ理論	竹ノ山
⑧教育評価の考え方	【予習復習】教育評価の理論	竹ノ山
⑨学習の支援者としての教師の役割	【予習復習】教師論	竹ノ山
⑩授業のデザインの基本	【予習復習】授業デザインの基本的考え方	竹ノ山
⑪主体的学びを促進する教授法	【予習復習】アクティブラーニングの考え方	竹ノ山
⑫クラスマネジメントと配慮を要する学習者への支援	【予習復習】学習者支援の基本的考え方	竹ノ山
⑬【演習】指導案の作成	【予習復習】模擬授業の指導案を作成する	竹ノ山
⑭【演習】ミニ模擬授業 I: 学校教育における授業の実践	【予習復習】模擬授業を実践する	竹ノ山
⑮【演習】ミニ模擬授業 II: 生涯学習における講座の実践	【予習復習】模擬授業を実践する	竹ノ山
⑯知能検査1: ビネー式知能検査	【予習復習】ビネー式知能検査の概略	竹ノ山
⑰知能検査2: ウェクスラー式知能検査	【予習復習】ウェクスラー式知能検査の概略	竹ノ山
⑱性格検査1: 質問紙法検査	【予習復習】質問紙法性格検査の概略	竹ノ山
⑲性格検査2: 投影法検査	【予習復習】投影法性格検査の概略	竹ノ山
⑳性格検査3: 作業検査法検査	【予習復習】作業検査法性格検査の概略	竹ノ山
㉑乳幼児の発達に関する検査	【予習復習】発達検査の概略	竹ノ山
㉒知覚・感覚に関する検査	【予習復習】知覚検査の概略	竹ノ山
㉓記憶に関する検査	【予習復習】記憶検査の概略	竹ノ山
㉔高次脳機能検査	【予習復習】高次脳機能検査の概略	竹ノ山

成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする

テスト: %	レポート: 60%	%	実技試験: %	その他: 40%	%
使用テキスト: 適宜、資料を配布する。			その他参考文献など:		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): 「主体的・対話的で深い学び」を実践的に修得するために、クエスト型授業によるアクティブラーニングで学びます。					

専攻科看護学専攻

科目名:	看護ケアに生かす情報通信技術	単位	開講時期	科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択
		1	後期	専門基礎科目	講義	選択
担当教員:	泉 敏郎					
授業科目の学習教育目標の概要:						
看護ケアに生かす情報通信技術は、医療現場における効率性、精度、安全性を向上させるために重要な役割を果たす。本授業では、患者の健康管理や医療チームの連携を向上させ、質の高いケアを提供するためのさまざまな情報通信技術について学ぶ。						
授 業 計 画		学 習 内 容				担当教員
①情報通信技術の種類		情報通信技術の種類と概要を理解する。				浦城
②電子健康管理(EHR)		患者の医療情報を電子的に管理することによる、看護ケアの質向上について理解する。				浦城
③モバイルヘルスアプリ		患者がモバイルアプリを使用して健康データを記録し、看護師と情報共有することで、患者の健康状態を管理できることを学ぶ。				浦城
④テレヘルス		ビデオ会議やオンラインチャットを通じて、離れている患者と看護師がコミュニケーションを取れることを学ぶ。				浦城
⑤バイタルサインモニタリング		バイタルサインを常時モニタリングし、患者の状態の変化を早期に検知して介入できることを理解する。				浦城
⑥RFID(Radio Frequency Identification)		RFID技術を使用して、患者や医療機器の位置を追跡・監視し、効率的なケアを提供できることを学ぶ。				浦城
⑦教育・トレーニング用技術		看護学生や新任の看護師に、シミュレーションや仮想現実(VR)技術を活用したトレーニングが有効であることを理解する。				浦城
⑧看護決定支援システム		患者の診断や治療計画を立案する際に利用して情報を提供する支援システムについて学ぶ。				浦城
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする						

テスト:	%	レポート:	50 %	発表:	%	実技試験:	%	その他:	50 %
使用テキスト:	その他参考文献など: Nursing Informatics and the Foundation of Knowledge, Dee McGonigle, Kathleen Mastrian								
受講上の留意点(担当者からのメッセージ):									

